

2 0 . 水道局

水道局 平成20年度局運営方針

1. 安全で安定した水の供給

- ・ 震災・濁水などの非常時における活用も含め、自己水源である地下水の保全に努めます。
- ・ 老朽管の更新による漏水防止に努めるとともに、耐震化を進めます。

2. 効率的な水利用の促進

- ・ 配水ポンプ、受配電設備など、拠点施設の改良・更新を推進します。
- ・ 効率的な配水制御、水質管理、バックアップ機能の強化を図るため、給水区域のブロック化を推進します。
- ・ 配水管網の整備による効率的な水利用を進めます。

3. 施設の耐震性向上

- ・ 浄・配水場施設及び水道管の耐震化を進めます。

予算額

(単位:千円)

	平成20年度	平成19年度	増 減
水道局予算額	52,398,920	42,725,290	9,673,630
(収益的支出)	29,235,432	29,809,043	573,611
(資本的支出)	23,163,488	12,916,247	10,247,241

主要事業

1. 第一次施設整備事業

地下水源整備事業 予算額: 143,525千円(水道計画課)
 貴重な自己水源である地下水を保全するため、老朽化した深井戸の改良・更新を計画的に実施し、安全で良質な水を供給します。

拠点施設整備事業 予算額: 1,888,106千円(水道計画課)
 浄・配水場の老朽化した設備の改良・更新を行います。

配水ブロック整備事業 予算額: 1,255,009千円(水道計画課)
 配水ブロック化に必要な配水幹線を整備するとともに、水質計・水圧計・流量計などの監視制御システムを整備します。

配水支管整備事業 予算額: 1,444,361千円(水道計画課)
 配水管が布設されていない道路(公・私道)に配水管を布設します。

老朽管更新事業 予算額: 3,046,565千円(水道計画課)
 老朽管の更新率を高め、赤水や漏水を未然に防止することにより、水の有効利用を図ります。

耐震化事業 予算額: 396,917千円(水道計画課)
 浄・配水場などの基幹施設の耐震化を実施します。

2. 鉛給水管解消事業 予算額: 1,474,020千円(給水装置課)
 宅地内の水道メーター前後及び公道上の配水管分岐部に使用された鉛給水管の取替を行います。

3. 有効率向上対策事業 予算額: 161,444千円(維持管理課)
 腐食土壤に布設されている配水本管接合ボルトの交換修繕や漏水調査を実施し、漏水の早期発見と漏水事故の未然防止に努めます。

